

薬剤師が変わる、 がん治療新時代!

つながろう、すべてのがん患者に切れ目のない薬学的介入を!!

がん医療は抗がん剤治療から緩和医療、在宅医療など、さまざまな場面で薬剤師が必要とされています。がん医療を支える全ての薬剤師が学び、連携する学会を目指します。

大会長：和泉 啓司郎 (国立がん研究センター東病院 薬剤部長)

実行委員長：松井 礼子 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

開催日 2013年
3月 16日(土)
17日(日)

日本緩和医療薬学会 単位認定
(詳細は裏面をご覧ください)

日本薬剤師研修センターによる
研修認定単位申請予定

○特定非営利活動法人
日本臨床腫瘍学会共催教育セミナー／2日目 9:00～
近畿大学医学部 ゲノム生物学 教授
西尾 和人 先生
「分子標的薬の基礎から臨床、トランスレーショナルリサーチ」

○市民公開プログラム／2日目 14:15～16:00
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻
脳神経制御学講座 (精神神経病態学) 教授
内富 庸介 先生
「心の痛み～がんと上手に取り組む～」

○その他プログラム
・一般社団法人 日本緩和医療薬学会共催教育セミナー
・一般社団法人 日本癌治療学会共催シンポジウム
・一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会共催シンポジウム
(本シンポジウムは公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています) 他

場 所

タワーホール船堀 (都営新宿線船堀駅より徒歩1分)
東京都江戸川区船堀4-1-1 <http://www.towerhall.jp/>

参加申込

学術大会ホームページからのオンライン登録のみとなります。

<http://c.jaspo-oncology.org/>

事前申込み締め切り 2013年1月31日(木)

参加費

JASPO会員：事前登録 ￥6,000
：当日登録 ￥8,000
非会員：事前登録 ￥7,000
：当日登録 ￥9,000
学生：事前・当日登録 ￥3,000
(社会人学生は除く)

主催：一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会 (JASPO)

後援：厚生労働省、日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、東京都病院薬剤師会、東京都薬剤師会

大会事務局 / 〒104-0045 東京都中央区築地 1-9-4 ちとせビル(株朝日エル内) TEL: 03-5565-5695 FAX: 03-5565-4914

日本臨床腫瘍薬学会 学術大会2013 プログラム(予定)

| 日 | 時間 | 第1会場 大ホール | 第2会場 小ホール | 第3会場 平安 | 第4会場 蓬萊 | 展示会場 展示ホール | | | |
|----------------------------|-------|--|---|--|---|--------------------------|-------------------|----------------------------|--------------------|
| 16日(土) | 10:00 | 10:15~ 開会式 | | | | 9:00~11:00 ポスター 貼付 | | | |
| | 11:00 | 11:00~12:00 理事長講演 本日は、がん薬物療法に責任をもつ薬剤師の 誕生日です。 遺藤一司(日本臨床腫瘍薬学会理事長) | | | | 11:00~16:30 閲覧 | | 11:00~18:00 機器展示 | |
| | 12:00 | 12:15~13:15 ランチョンセミナー1 共催:大鵬薬品工業株式会社 | 12:15~13:15 ランチョンセミナー2 共催:サンド株式会社 | 12:15~13:15 ランチョンセミナー3 共催:光製薬株式会社 | 12:15~13:15 ランチョンセミナー4 共催:日医工株式会社 | | | | |
| | 13:00 | | | | | | | | |
| | 14:00 | 14:15~15:00 総会 | | | | | | | |
| | 15:00 | 15:10~16:00 口頭発表1 | 15:00~16:20 口頭発表2 | | | | | | |
| | 16:00 | 16:10~17:00 大会長講演 がん医療と薬剤師—現在の課題点と今後の対策— 和泉啓司郎(日本臨床腫瘍薬学会学術大会2013大会長) | | 15:30~18:30 オンコロジーファーマシストセミナー Oncology Pharmacist Seminar —ベストプラクティスに貢献する、 専門家であり、実践者であるために— *本プログラムは事前登録制です 共催:中外製薬株式会社 | | | 16:30~17:00 示説 | | |
| | 17:00 | 17:10~18:30 シンポジウムI 薬薬連携—経口抗がん剤の院外処方せん発行 に際し、薬剤師がどのような介入を行うべきか— 濃沼政美(日本大学薬学部病院薬学研究室) 山本弘史(医薬品医療機器総合機構) | 17:10~18:30 シンポジウムII 臨床研究をはじめめるために —基本的手法と研究の実際— 鈴木賢一(がん研有明病院薬剤部) 山口拓洋(東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野) | | | | 17:00~18:00 閲覧 | | |
| 18:00 | | | | | | | | | |
| 13:30~18:05 ミニ レクチャー | | | | | | | | | |
| 日 | 時間 | 第1会場 大ホール | 第2会場 小ホール | 第3会場 瑞雲 | 第4会場 平安 | 展示会場 展示ホール | | | |
| 17日(日) | 9:00 | 9:00~10:30 教育セミナー 分子標的薬の基礎から臨床、トランスレーショ ナルリサーチ 西尾和人(近畿大学医学部ゲノム生物学教授) 他 共催:日本臨床腫瘍学会 | 9:00~10:30 共催シンポジウム 在宅医療における栄養療法—がん患者を中心に— 大澤光司(全国薬剤師在宅療養支援連絡会会長) 倉田なおみ(昭和大学薬学部薬物療法学講座薬剤学部門) 共催:全国薬剤師在宅療養支援連絡会 | 9:00~10:20 シンポジウムIII 乳がん外来で薬剤師の職能を発揮しよう! —薬剤師に何が出来るか、何が求められているか— 小茂田昌代(東京理科大学薬学部医療安全研究室) 相良吉昭(社会医療法人博愛会相良病院 理事長) | | | 9:00~10:00 閲覧 | 9:00~10:20 初心者 口頭発表 | 9:00~15:00 機器展示 |
| | 10:00 | | | | | 10:00~10:30 示説 | | | |
| | 11:00 | 10:40~12:10 共催シンポジウム 乳がん術前術後化学療法における医師と 薬剤師の連携 共催:日本癌治療学会 | 10:40~12:10 教育セミナー がん疼痛治療—基礎から最新情報まで— 共催:日本緩和医療薬学会 | 10:40~12:10 口頭発表3 | | | 10:30~17:00 閲覧 | 10:30~12:10 ミニ レクチャー | |
| | 12:00 | | | | | | | | |
| | 13:00 | 12:30~13:30 ランチョンセミナー5 共催:日本ベクトンディッキンソン株式会社 | 12:30~13:30 ランチョンセミナー6 共催:セルジーン株式会社 | 12:30~13:30 ランチョンセミナー7 共催:沢井製薬株式会社 | | | | | |
| | 14:00 | 14:15~16:00 市民公開プログラム 心の痛み—がんと上手に付き合う— 内富庸介(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 脳神経制御学講座 (精神神経病態学)教授) 他 | 14:15~16:00 市民公開プログラム(サブ会場) | | | | | | |
| | 15:00 | | | | | | | | |
| | 16:00 | | 16:00~ 閉会式 | | | | 15:00~ 撤去 | | |

※プログラムの内容・時間等は変更する場合がございます。

※懇親会は、16日(土)19:00~同会場にて開催します。

※日本緩和医療薬学会の単位申請の際には、本会の参加証が証明書となります。(2日間の参加で8単位)

●日本臨床腫瘍薬学会 学術大会2013 実行委員会

大会長 和泉 啓司郎 (国立がん研究センター東病院 薬剤部長)

実行委員長 松井 礼子 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

副実行委員長 和田 敦 (神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

委員 植村 隆 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

委員 大塚 昌孝 (つくし薬局)

委員 川澄 賢司 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

委員 倉田 なおみ (昭和大学薬学部薬物療法学講座薬剤学部門)

委員 小暮 友毅 (国立病院機構 四国がんセンター 薬剤部)

委員 野村 久祥 (杏林大学医学部付属病院 薬剤部)

委員 湊川 紘子 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)